R7. 11. 12(水) 実施

令和７年看護学校試験問題　疾病論5（井藤先生）

次の問いに答えよ。（正解はひとつではない、）

1　中耳にあるものはどれか

1．アブミ骨
2．三半規管
3．前庭
4．蝸牛

2　内耳について正しいのはどれか

1．前庭は上下前後の直線運動を感知する。
2．三半規管は回転運動を感知する。
3．蝸牛神経は聴覚情報を脳へ伝える。
4．前庭神経は聴覚情報を脳へ伝える。

3　鼻腔について正しいのはどれか

1．鼻中隔で左右に分かれている。
2．鼻腔前方に、においを感じる嗅細胞が分布している。
3．キーゼルバッハ部位は鼻中隔後方にある。
4．鼻甲介は加温と加湿を行う。

4　副鼻腔について正しいのはどれか

1．副鼻腔は４つ空洞から成る。
2．鼻腔との交通はない。
3．最大の腔は篩骨洞である。
4．副鼻腔は共鳴腔の役割がある。

5　喉頭にあるものはどれか

1．ステノン管
2．声帯
3．アデノイド
4．舌根扁桃

6 正しいのはどれか。

1，耳小骨の振動を卵円窓がうけ、電気信号に変換する。

2，耳小骨は鼓膜側から、キヌタ骨、ツチ骨、アブミ骨の順で連鎖している。

3，外耳道には耳垢腺がある。

4，人の耳介には音を集める能力はない。

7 伝音難聴を起こすのはどれか

1．耳垢栓塞

2．滲出性中耳炎

3．メニエール病

4．突発性難聴

8 リンパ液の動きが関与する感覚器はどれか

1．味覚

2．嗅覚

3．聴覚

4．平衡感覚

9 急性中耳炎について正しいのはどれか

1．原因菌はインフルエンザ菌、肺炎球菌が多い。

2．感冒後に中耳炎をきたすことがある。

3．プールが主な原因である。

4．痛みのみで、難聴を訴えることはない。

10 突発性難聴について正しいのはどれか

1. 突発性難聴は、一度発症すると、繰り返して起こる。

2. 1週間以内の早期治療が望ましい。

3. めまい合併例は、予後が悪い傾向がある。

4. 聴力検査は伝音難聴である。

11　鼻出血について正しいのはどれか。

1. キーゼルバッハ部位の頻度が多い

2. 鼻翼部より上方を圧迫する。

3. 上方向を向く姿勢は止血効果が高い。

4. 止血困難時は、ガーゼタンポン処置を行う。

12　慢性副鼻腔炎について正しいのはどれか。

1. 後鼻漏

2. 水様性鼻汁

3. 嗅覚障害

4. 頭痛、咳嗽

13　スギ花粉症について正しいのはどれか。

1. IgE が関与する。

2. 膿性鼻汁持続が特徴である。

3. IgG が関与する。

4. 舌下免疫療法も有効な治療法である。

14　咽頭の役割で正しいのはどれか

1．気道

2．免疫機能

3．構音

4．嚥下

15　舌、味覚について正しいのはどれか

1．味蕾は、たんぱく質を旨味として感じる。

2．糸状乳頭は食物をなめたとき、こさぎ取る役割がある。

3．１つの味蕾は１種類の基本味を知覚する。

4．舌の後ろ１／３は舌咽神経領域である。

16　扁桃肥大について正しいのはどれか

1．口蓋扁桃のⅢ度肥大は手術適応である。

2．アデノイド増殖症は鼻閉をきたし、口呼吸となる。

3．睡眠時無呼吸症候群の原因となる。

4．小児睡眠時無呼吸は、将来縮小するので経過観察でよい。

17　急性扁桃炎について誤っているものはどれか。

1. A群β溶血性連鎖球菌は、起炎菌の一つである。

2. 開口障害は、急性扁桃炎の増悪を意味する。

3. 疼痛、発熱、口蓋扁桃に膿栓の付着が特徴である。

4. 合併症がなければ、1週間程度で改善する。

18　声帯ポリープについて正しいのはどれか。

1. 通常片側性である。

2. 大声をだすことで、発症することがある。

3. 両側声帯に対称性に生じる。

4. 手術療法が第一選択である。

19　あなたは、3歳の子供を持つ親戚から、最近子供のいびきがひどく、時々息が止まると相談を受けました。医療機関受診前のアドバイスとして正しいものを選べ。

1. いびき、時々無呼吸ならなら、様子を見てよい。
2. いびき時、鼻汁、鼻閉も伴い、無呼吸が出現するか確認する。
3. 日中に行動が粗暴、注意散漫になっていないか、園の先生に確認。
4. いびき音、胸郭の動きを動画撮影する。

20　あなたは、叔母（８８歳）の聞こえが、かなり悪くなっているように感じました。家族も、会話が成立せず悩んでいるようです。アドバイスとして正しいものを選べ。

1　会話が減ると、認知機能に影響が出るので注意が必要。
2　身体障害者申請をすると、補聴器の補助制度があるので、適応あるか耳鼻科受診をすすめる。
3　補聴器は聞こえるほうの耳で使用する。
4　まず集音器を買って様子をみてもらう。

令和７年度　耳鼻咽喉科（井藤先生）　　　　　　　Ｒ7．11．12（水）実施

疾病論５　単位認定試験

※選択するものがない場合は、「なし」と記入すること。

1	1、3 -3			11	1	4	
2	1	2	4	12	3	4	
3	2	4		13	1	4	
4	1	4		14	1	2	4
5	2			15	1	2	4
6	1	3		16	1	2	3
7	1	2		17	なし		
8	3	4		18	1	4	
9	1	2		19	2	3	4
10	2	3		20	1	2	3

-7

43 点